



富士見市議会だより

市制施行50周年記念 議場コンサート開催



富士見市議会では、市制施行50周年を記念して、10月15日（土）に議場コンサートを開催しました。コンサートは午前の部、午後の部の2部制とし、東邦音楽大学弦楽四重奏団の皆さんに演奏をしていただきました。

当日は延べ160名の方にご来場いただき、議場の独特の雰囲気を感じながら、素敵な音楽を楽しんでいただきました。



来場者の声

- コンサートの内容、雰囲気はどうでしたか
- ・素晴らしかった。
 - ・和やかな雰囲気楽しめた。
 - ・あつという間だった。
 - ・クラシックにはあまり触れる機会はなかったが、身近な曲も弾いてくれてよかった。
 - ・すぐ近くで見られたので奏者の指の動きまでよく見えた。
 - ・譜面が読めるぐらいの距離で鑑賞できたのは貴重な体験だった。
 - ・演奏を目の前で聴けて感動した。
 - ・本物のクラシックを間近で聴けてよい経験になった。また東邦音楽大学の演奏を聴きたい。
 - ・知っている曲が演奏されたので気持ちがほぐれた。
 - ・クラシックからアニメまでいろいろなジャンルがあつて楽しかった。
 - ・楽器本来の音を知ることができた。

議場の印象はどうでしたか

- ・市役所に来る機会はあるが、こういう場があるのかと思つた。
- ・傍聴に来たことはあるが、議員席は違う雰囲気だった。
- ・とても神聖な場所だと思つた。演奏の音はとても聴きやすかった。
- ・半月形の座席に並び、お互いの顔を見ながら意見を交わすのはよいと思つた。
- ・独特の造りだと思つた。
- ・初めて入つたが、想像と違い緊張した。
- ・市長席に座れて感動した。

その他

- ・またこういう機会を設けてほしい。こういう機会は小さな子どもへの教育としても素晴らしいと思う。
- ・コロナ感染防止用のアクリル板に息苦しさを感じたが、しっかり対策がとられていると思つた。
- ・議場の椅子に座ることができて、市政に興味を持った。

9月定例会トピックス

- ・9月定例会が8月30日（火）から9月28日（水）までの30日間にわたって行われました。
- ・今定例会では、令和3年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定をはじめとする9件の決算認定や、令和4年度富士見市一般会計補正予算（第5号）などについて審議し、いずれも原案のとおり認定・可決しました。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



田中 栄志 (21 未来クラブ)

① 星野市政2期目の中間検証について

Q 2期目の2年間を振り返っての所見は。

A これまでの2年間については、コロナ禍においても、「ふじみ☆ビジョン30+2ND STEP」と、このビジョンを反映した第6次基本構想・第1期基本計画をしっかりと前に進めてきた。

Q 2期目後半に向けての所見は。

A これまで進めてきた施策を一層推進し、完成させ、さらなるステージに飛躍できるまちづくりを展開したい。SDGsの理念に基づく持続可能なまちづくりを進め、第6次基本構想で掲げる理想の未来である「誰もが自分らしく充実した日々を送ることができる」まちづくりを目指して、職員一丸となって全力で市政運営に取り組む所存である。

りとして進めてきた。

Q 2期目後半に向けての所見は。

A これまで進めてきた施策を一層推進し、完成させ、さらなるステージに飛躍できるまちづくりを展開したい。SDGsの理念に基づく持続可能なまちづくりを進め、第6次基本構想で掲げる理想の未来である「誰もが自分らしく充実した日々を送ることができる」まちづくりを目指して、職員一丸となって全力で市政運営に取り組む所存である。

根岸 操 (無会派(立憲))

① 新型コロナウイルス感染症対策について

Q ワクチン対応の状況は。

A オミクロン株に対応するワクチン接種は、医師会などと速やかに安全に接種ができるように準備している。

② スポーツに対する行政の役割について

Q 学校開放での体育館空調

設備利用について、方向性は、A マニュアルを作成したり、利用料金徴収について検討したりする必要がある。

③ 鶴瀬駅東口地域について

Q 区画整理地内の交差点で事故が起きたので、注意喚起看板の他にも安全対策を。

A 一時停止等を含めた地域全体の安全規制の協議を行う。

Q 鶴瀬東1丁目公園に市掲示板設置を。

A 公園内に設置する。

Q 権平川の蓋掛けの進捗は。

A 来年度の工事実施に向けて設計中である。

深瀬 優子 (公明党)

① 認知症施策の推進について

Q 認知症地域支援推進員の役割に「認知症の人と家族への一体的支援事業」の企画・調整を厚生労働省において追加した。本市での取組は。

A 一体的支援プログラムは、新たな社会資源として、認知症のご本人と家族の、診断直後からの家族の関わり方を専

門的に支え調整する場を目指すもので、既存の社会資源を活用しながら地域の専門職や関係者を巻き込んだ活動に必要がある。検討していく。

② 鶴瀬駅東口周辺の魅力と価値を高めるまちづくり

Q 鶴瀬東1丁目集会所機能を兼ね備えた施設を設置を。

A 民間施設活用は、財政負担を伴い、貸主側の都合による移転や閉鎖による市民サービスへの影響を検討する必要がある。他の公共施設との複合化に関しては、検討対象となる施設の建替え予定はない。

伊勢田 幸正 (無会派日本維新の会)



① YouTubeの活用

Q 市のYouTubeアカウンタビリティを収益化し、市の財源化している例がある。本市も新たな自主財源の確保に向け取り組んで。

A 先行している市に問い合わせたところ、職員の作業負担も少なく、広告の内容もある程度指定でき、市のブラン

ドを損なわないこと等が確認できた。収益化には登録者100人以上、過去12か月の再生時間400時間が必要だが、本市の場合は登録者数が86人、再生時間が185時間でまだ収益化の要件を満たすには至っていない。今後要件を満たしたら検討したい。

② 消費者問題について

Q 4月から18歳成人が施行されたが、新たに成人となった年代からの相談状況は。

A 2件、クーリングオフに関する相談があったが、いずれも解決している。

篠原 通裕 (公明党)

① 防災マンション認定制度の導入を

Q 対策を実施しているマンションを「防災力向上マンション」として市が認定しては。

A 新しい制度でもあるので近隣自治体の動向を注視し、効果等、研究をしていく。

② 高齢者の相談体制について

Q 現在5か所ある窓口をシ

ンプルな名称で一本化を。

A それぞれの圏域において相談窓口として馴染んできたので、一本化は考えていない。

③ ヒアリングフレイル(聞こえの衰え)への対策を

Q 様々な方法でヒアリングフレイルに関する知識や情報の周知を。

A 周知啓発を図っていきたい。

Q 財源を考慮し、必要度の高い対象者を優先した補聴器の購入助成制度の導入を。

A ニーズの把握を行った上で検討していきたい。



山下 淑子 (公明党)

① 子どもの権利に関する条例の制定について

Q 子どもの「参加する権利」が特に大事。子ども議会、子ども会議の定期開催の考えは。

A 子どもの考えの反映方法を他市事例等で調査していく。

② 障がいのある青年たちの学校卒業後の夕方支援について

Q 夕方の日中一時支援事業

所への補助をしてはどうか。

A 夕方の支援が少ないことは認識している。様々なサービスを組み合わせる不安のない日常が送れるように努める。

Q 通所事業所での延長対応の協力要請をしてはどうか。

A 延長対応の可能性について、働きかけをしていく。

③ 带状疱疹予防接種について

Q 予防接種費用の助成を。

A 現在、接種は任意となるため助成の考えはない。定期予防接種化した時に接種を推進する。ワクチンに関する情報はホームページに掲載する。

関野 兼太郎 (21 未来クラブ)



① 長引く新型コロナウイルス感染症が及ぼす子どもたちへの影響について

Q 市内の児童虐待の実態は。

A 令和3年度は、市への通報が22件で、そのうち16件を児童相談所に通知した。

Q 医療機関での対応は。

A 虐待の疑いがあると判断した場合、医療機関は児童相

談所に通報するが、その情報は市も共有する。

Q 様々な事情で保育所や幼稚園に通っていない、いわゆる無園児への対応は。

A 乳幼児健診の機会などでリスト化し、支援を行う。

② 様々な分野に及ぶ各種計画について

Q 第三次富士見地域福祉計画で重点的に取り組むことになっている全世代型サロンの実施状況は。

A 多くの人が集まるサロンの開催自体が困難となり、活動が停滞している。

佐野 正幸 (21 未来クラブ)

① 子どもの安全・子育て環境の向上について

Q 「子どもの権利に関する条例」の制定を。

A 現時点で制定する考えはないが、全ての子どもが健康やかに成長するまちづくりをしっかりと推進していく。

Q 改めて、18歳(高校生世代)までの医療費無償化を。

A 検討していない。

② 健康で安心・生き生き暮らせるために

Q 高齢者に電動アシスト自転車購入の補助を。

A 他の自治体の動向を注視していく。

Q フードパントリーを行っている団体が、冷蔵や冷凍保存が必要な食品を一時的に保管できる共用冷蔵庫の設置を。

A 保管場所の確保に努める。

Q 常設型フードパントリー(コミュニティフリッジ)としての共用冷蔵庫の設置を。

A 先進事例を注視していく。

尾崎 孝好 (21 未来クラブ)

① 教育行政について

Q タブレット等の導入は児童生徒の自主性を育む、助け合う、コミュニケーション能力の向上などの効果も期待できると認識しているが現状は。

A 他者との関わり、主体的な学びの一助にもなっていると考えている。

Q STEM教育を可能な限

り全ての学校で取り組む環境の整備が必要と考えるが。

A 令和5年度からのスタートに向けて準備を進めている。

② びん沼自然公園整備事業について

Q 期待する声がある一方で心配する声も聞かれる。費用対効果も含め、事業の具体的なイメージの共有が必要では。

A 不安を払拭できるよう引き続き取り組んでいく。

Q 賑わいづくりに向けて民間のノウハウ活用も必要では。

A 様々なネットワークを活かし、しっかりと進めていく。

篠田 剛 (公明党)

① 災害対策の推進について

Q 浸水時における富士見台中学校や集会所などへ、短期避難所の設置と避難所開設キットや備蓄品の整備を。

A 災害対策本部の判断により小学校を主体として避難所を開設している。小学校以外の避難所については災害規模に応じて開設することになっ

ている。避難所開設キットの設置は現状の小学校から中学校や公民館にも広げていく。

Q 大雨による浸水被害の際、下水道施設による影響と水道利用を控える協力を呼び掛けることについて、市の見解は。

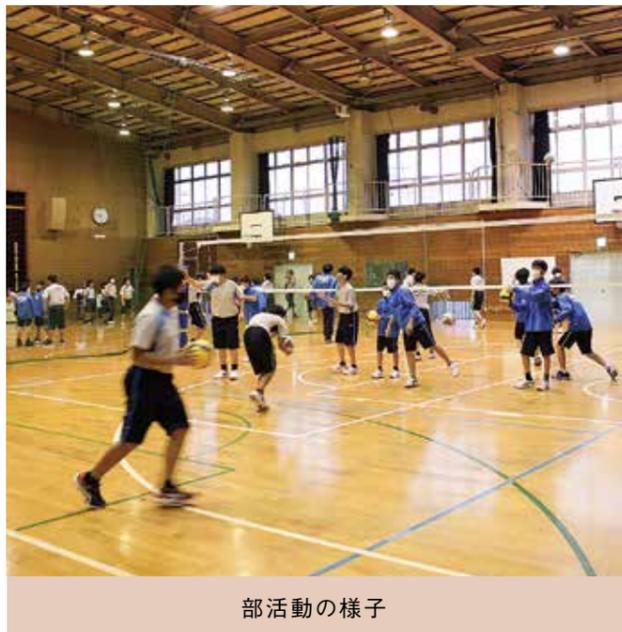
A 下水道管内が雨水で満水状態となると通常の汚水の排水が阻害される。低地地域では管路内の圧力上昇で汚水がマンホールから溢れる現象が見受けられる。水道の利用を控えることは大きな効果があるので、ホームページなどで節水への協力依頼をしていく。

宮尾 玲 (日本共産党)



①国民健康保険税について
 Q 子どもの均等割に対し、市の独自減免を。
 A 今後、保険税を県内で統一していくため、市の独自施策は考えていない。
 ②放課後児童クラブの指定管理者制度について
 Q 随意指定の基準の改定で、どういった変化が生じるのか。

A 現在の内容を上回る提案がされ児童はこれまで以上のサービスを受けられると認識。
 Q 5年ごとに運営事業者がかわれば、安定性、継続性が損なわれる。公募による民間業者参入で、春日部市ではトライが参入したが支援員が集まらず、保護者が裁判を起こしている。新座市やふじみ野市ではシダックスだが、人の入れ替わりが激しいと聞いた。これでは子どもの最善の利益は守れない。再検討を。
 A 新しいルールに基づき行っていく。



部活動の様子

木村 邦憲 (日本共産党)



①西出張所の早期再開を
 Q 6月の定例会で早期再開を求める陳情が賛成16、反対4という大差で採択された。その結果を重く受け止め、早急に具体的な対応をすべき。
 A 現時点では検討段階には至っていない。
 ②障がい者施策について
 Q 作業所での日々の就労が

終わった後に、集える場所が欲しいという声が利用者や家族から寄せられている。市として支援をすべき。
 A 関係者より良い支援に向けて協議をしていきたい。
 ③コロナ対策の拡充を
 Q 多くの市内中小事業者はコロナ危機と原材料費等の高騰で二重苦に陥っている。支援策を講じるべき。
 A 国と県の動向を見ながら追加支援策を改めて検討する。
 Q PCR検査実施と抗原検査キットの無料配布をすべき。
 A 実施と拡充の考えはない。

川畑 勝弘 (日本共産党)



①びん沼自然公園整備事業について
 Q パークゴルフ場の整備工法が、客土を行わずに暗渠排水による工法へと計画変更された。今後も更なる予算の肥大化が起こりうるのでは。
 A 今後、計画変更と予算の増額は想定してない。
 Q 止水壁の図面で、六価ク

ロム対応型とあるが市としての見解は。
 A セメント系の改良剤ということ認識している。
 Q 六価クロムは発がん性物質で第二のアスベストである。六価クロム対応型であってもあくまで影響を軽減するだけで、土と攪拌すると成分によっては化学反応を起こし、最終的には六価クロムとなって土壌等を汚染する危険性がある。どのように対応するのか。
 A 環境に配慮したセメント改良剤は、一般的な土木工事でも使われている。

加賀 奈々恵 (草の根)



①公共の場に女性専用トイレの設置を
 Q 女性専用トイレを設置しない公園があるが、女性専用トイレを設置するべきであると考え。市の見解は。
 A 地域住民の声を聞いて検討する。
 ②全ての小中特別支援学校に生理用品の設置を

Q 学校のトイレに生理用品を設置するべき。現状の保健室で配布する方法では、必要な生徒に届かない。
 A いただいた意見を踏まえ、養護教諭等と検討する。
 ③市内循環バスのダイヤ改正に伴う地域の声について
 Q 鶴瀬東地域、特に前谷エリアからバスが減便されて困っているという声を伺う。ダイヤを再び見直す考えは。
 A 運転手不足のため難しい。運転手の処遇改善については事前に検討したのか。
 A 検討していない。

村元 寛 (草の根)



①障がい者支援について
 Q びん沼自然公園の多目的トイレに介護ベッドの設置を。
 A 新規に設置した。
 Q びん沼自然公園の関連施設などの利用料金の減免を。
 A 減免を決定した。
 ②お金の相談窓口の設置を
 Q お金について正しい知識を得られる環境の提供を。

A 知識や情報を学ぶ機会として、必要に応じてマネー講座などを実施していきたい。
 Q 市民相談の一環として家計などの相談窓口の設置を。
 A 関連する相談先などの案内や交流センターでの事業の開催などを検討していく。
 ③部活動の地域移行について
 Q 現時点での生徒、保護者、教員への対応は。
 A 設置した部活動検討委員会で慎重に丁寧に対応する。
 Q 人材派遣会社の活用を視野に持続可能な対応を。
 A 情報収集に努めていく。

小川 匠 (日本共産党)



①環境施策について
 Q 市が環境に影響を及ぼす可能性のある事業を行う際に、法律や条例の対象とならない場合でも自ら環境配慮に関する検討を行う「自主的な環境配慮の取組」実施の考えは。
 A 事業を所管する部局では、計画段階や実施段階において環境影響の把握や対策を図り

ながら事業を実施しているため、一律に自主的な環境調査を実施する考えはない。
 Q 循環型の社会をつくるために、チップや燃料になる剪定枝及び石けんやタイヤの原料になる食用廃油のリサイクルを市として行っているかどうか。
 A 剪定枝・食用廃油ともに、資源化に向け調査・研究中。
 ②公営プールの整備について
 Q 富士見ガーデンビーチが閉園したがプールを望む声は多い。市の見解は。
 A 新たな公営プールの整備については検討していない。

小泉 陽 (21:未来クラブ)



①サマーレビューについて
 Q 実施状況は。
 A 財源確保の見通しが立つため令和5年度予算編成に向けたサマーレビューは実施しなかった。今後の実施は、多大な影響を及ぼす不測の事態が生じた際に判断する。
 ②市民サービス向上について
 Q 申請手続の簡素化に向け

た取組の検討状況は。
 A コンビニ交付サービスで発行可能な証明書の拡充について前向きに検討する。「書かない窓口」は手続の簡素化に有効な手段と考えられるため、導入を前向きに検討する。
 ③交通政策について
 Q 実証実験をしているシェアサイクル事業の方向性は。
 A 移動手段のひとつとして重要な役割を持っていると認識しており、順調に利用が伸びている。令和5年度以降も事業継続の方向で運営事業者と協議していく。

熊谷 麗 (草の根)



①公園の利活用について
 Q 時間帯によってグラウンドゴルフ等が利用できるようにしてはどうか。
 A 都市公園条例の禁止事項の占有利用に当たらないため、現在利用許可をしていない。今後は利用者の声を聞き、周辺地域への周知や理解醸成を含め検討していく。

②保育環境の充実について
 Q 使用済み紙おむつの持ち帰り廃止の検討状況は。
 A 現状、公立と民間の施設で対応が異なっている点、持ち帰りの際、袋を二重以上の状態にするなどの感染対策も実行している点、保育士の負担面ではあまり変化はないと考えられる点から、検討していない。
 ③市内中学校の制服について
 Q 新制服へ移行する場合の周知方法について。
 A 表記方法を含め、制服検討委員会等で検討していく。

今成 優太 (草の根)



①新たな公共施設の運営について
 Q 茨城県境町では、公共施設を建設する際、建設費は自治体が負担するが、民間業者より施設利用料を徴収し、町の負担をゼロにする「境町モデル」を確立している。本市も参考にしているかどうか。
 A とても興味深い話である。

検討や研究をしていく。
 ②コロナ禍の事業者支援について
 Q コロナ禍のエッセンシャルワーカー事業者において、職員不足による負担が大きくなっている。市として支援をすべきではないか。
 A 県で実施している事業の周知をしている。
 ③学校プール開放について
 Q 小学生以上という制限がある。幼児専用プールを設けるなど幼児も楽しめる取組を。
 A 趣旨は理解するところだが、課題が多く、難しい。



議員顔写真下のスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの録画映像にアクセスできます。なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
 録画映像 本会議終了後1週間程度で配信

または

■次回定例会のお知らせ■

- 11月29日 (火) 開会・議案内容説明
- 12月 2日 (金) 議案総括質疑
- 12月 6日 (火) 総務常任委員会
- 12月 7日 (水) 文教福祉常任委員会
- 12月 8日 (木) 建設環境常任委員会
- 12月 9日 (金) ~15日 (木) 市政一般質問
- 12月16日 (金) 予算決算常任委員会
- 12月21日 (水) 委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります。

令和4年第3回(9月)定例会 審議結果

全会一致可決の議案等

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
64	富士見市職員の育児休業等に関する条例及び富士見市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	79	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
65	富士見市手数料条例等の一部を改正する条例の制定について	80	令和3年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について
67	富士見市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	82	令和3年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
68	富士見市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定について	84	工事請負契約の締結について
70	令和4年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	報告6	令和3年度公益財団法人キラリ財団決算について
71	令和4年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第1号)	報告7	債権の放棄について
72	令和4年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	陳情12	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める陳情(陳情者 沖山芽衣)
73	令和4年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議18	不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書の提出について
77	令和3年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	議19	性犯罪の実態に即した刑法の更なる改正を求める意見書の提出について
78	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	議21	女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書の提出について

*「報告」については採決の対象ではありません
○賛成 ×反対

賛否の分かれた議案等

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ				草の根				公明党				日本共産党				(立)	(維)			
			小泉陽	田中栄志	佐野正幸	尾崎孝好	齊藤隆浩	関野兼太郎	村元寛	加賀奈々恵	熊谷麗	勝山祥	今成優太	篠田剛	篠原通裕	山下淑子	深瀬優子	木村邦憲	宮尾玲	小川匠	川畑勝弘	根岸操	伊勢田幸正
66	富士見市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和4年度富士見市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	令和3年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	令和3年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	令和3年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	令和3年度富士見市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	工事変更請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情13	びん沼自然公園整備事業のリスクに関する説明を求める陳情(陳情者 瀬戸口広樹)	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情14	びん沼自然公園の工事に関する説明会開催を求める陳情(陳情者 びん沼自然公園を愛する会 代表者 瀬戸口広樹)	採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議20	地方の農地の保全と活用のための支援拡充を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議22	政府の原発依存政策に反対し、再生可能エネルギー大幅導入への転換を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議23	消費税減税を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議24	新型コロナウイルス感染症「第7波」から国民のいのちを守るための意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※表中、(立)は無会派(立憲)、(維)は無会派(日本維新の会)を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長は賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

決算議案に対する各会派等の討論(発言順)

日本共産党 (不認定)
新型コロナウイルス対策として事業者や自宅療養者への支援などは評価するが、感染拡大を抑えるために市民や保育施設、学校等におけるPCR等検査体制の拡充が必要だった。びん沼自然公園へのパークゴルフ場整備は市民の理解を得られていない。市役所西出張所は閉鎖から1年以上不便を強いられている。早急に代替施設を整備するべき。新型コロナウイルスから命と暮らしを守り、市民の切実な願いに寄り添う市政への転換を求める。

公明党 (認定)
東京2020オリパラ大会縮小開催中、新型コロナウイルスワクチン追加接種推進など市民の命を守るための行政運営となった。2回の小規模企業者等への支援金給付、自宅療養者への支援品購入、子育て世帯臨時特別給付金の一括給付、文化芸術によるまちづくり事業補助金、小中学校体育館空調設備工事設計など、市民に寄り添う施策の展開を評価する。複雑化する課題を捉え更に質の高い行政サービス構築を望み認定とする。

草の根 (認定)
エッセンシャルワーカーに慰労金を給付したことは評価する。東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを、後世に引き継ぐ取組に期待をする。不登校児童数は過去最高になった。出張教育相談室などの取組は今後につなげてほしい。デマンド交通は回数などについて検討もすべき。最後に、大きな減収にならなかったことは好材料。他自治体のモデルも参考にし、自主財源の確保に注力し、財政運営に努めてほしい。

21・未来クラブ (認定)
コロナ感染の拡大で、12回もの補正予算を緊急に組む大変な市政の舵取りが求められた中、ワクチン接種や各給付金等、コロナ対策を市が一丸となり講じたことをまず評価する。また、レガシーを創出する東京2020オリンピック・パラリンピックへの取組、GIGAスクール構想等ICTの推進、小中学校体育館へのエアコン設置の設計、びん沼自然公園の整備など、今後の発展につながる事業が実行されたことを評価する。

無会派(日本維新の会) (認定)
年度で見ると3年目となるコロナ禍の中でも、4月からスポーツ行政の教育委員会から市長部局への移管をはじめとする組織再編、また庁舎建て替えの方針が示されるなど市政に大きな動きがあった年であった。気になる点としては、自主財源確保策について最近、新たなメニューが出てきている。既に多くの施策が取り組まれていることもあるが、他自治体では新たな取組をしている。本市も研究を。

無会派(立憲) (認定)
国・県からコロナ関連の補助金や助成金で市独自事業なのか見えづらかった。約15億円の黒字で財政調整基金を約7.5億円増加にしたが独自の支援も更に欲しかった。取組は引き続き子育て支援やエッセンシャルワーカーへの慰労金などコロナ関連対応を評価。コロナ禍で個人所得や商工業者もまだ厳しいので丁寧な対応を望む。学校給食費の完全無償化や18歳までの子ども医療費無料化、不用額の効率運用も要望し認定する。

議案審議報告

議案第67号
富士見市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)
重度心身障害者医療費の支給において、加入している健康保険の保険者から標準負担額の減額認定を受けているときは、食事療養標準負担額の全額を助成していますが、低所得者支援の観点から生活療養標準負担額の食費分についても助成対象とするため、条例の一部を改正するものです。
[令和4年9月28日施行]

議案第68号
富士見市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例の制定について (全会一致可決)
富士見市立学校における学校給食について、学校給食費を公会計化するため、条例を制定するものです。
※公会計化…学校給食費を学校独自の会計(私会計)で管理するのではなく、市の歳入歳出予算に組み入れて管理すること。これにより、学校給食費は市の収入となり、食材の購入に係る費用などは市の支出となる。
[令和5年4月1日施行]

議案第69号
令和4年度富士見市一般会計補正予算(第5号) (賛成多数可決)
既定の予算から5億147万3,000円を増額し、予算の総額を396億1,854万9,000円とするものです。
《主な内容と金額》
・新型コロナウイルスワクチンの初回接種

を完了した方に対し、オミクロン株対応ワクチンの接種をするための補正
[3億2,614万8,000円]
・令和3年度に交付された子育て世帯生活支援特別給付金事業費補助金(ひとり親世帯以外分)等の超過交付分を返還するための補正
[5,166万5,000円]

議案第83号
工事変更請負契約の締結について
[富士見市びん沼自然公園整備工事(設計・施工)] (賛成多数可決)
《履行期限》
変更前…令和4年12月28日
変更後…令和5年3月24日
(86日間の延長)
《請負金額》
変更前…9億5,480万円
変更後…9億8,499万5,000円
(3,019万5,000円の増額)
《請負業者》
東亜道路工業株式会社 北関東支店

議案第84号
工事請負契約の締結について
[市立水谷小学校校舎増築工事(設計・施工)] (全会一致可決)
《請負業者・請負金額》
大和リース株式会社 埼玉支店
[5億9,950万円]

